

令和5年度 環境経営レポート

対象期間：2023年5月～2024年4月



大場機工株式会社

2024年6月13日発行

目次

1. 組織の概要	P3
2. 対象範囲	P5
3. 環境経営方針	P6
4. 実施体制	P7
5. 役割、責任及び権限	P8
6. 環境経営目標	P9
7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P10
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 ならびに次年度の環境経営計画	P11
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反、訴訟などの有無	P13
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	P14

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

大場機工株式会社

代表取締役 大場 正晴

(2) 所在地

本社・工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
TEL：0544-27-6066
FAX：0544-27-6214
敷地：10,000m²
建物：2,500m²

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
TEL：0544-65-2188
FAX：0544-65-2466
敷地：10,000m²
建物：3,500m²

◎本社/工場（H29.1月撮影）



◎第2工場（H29.1月撮影）



(3) 環境管理責任者、環境管理副責任者、化学物質管理責任者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 加藤 慎也
TEL：0544-27-6066 FAX：0544-27-6214
E-Mail：shinya.k@ohbakiko.co.jp

環境管理副責任者 高柳 真一
E-Mail：yanagi@ohbakiko.co.jp

化学物質管理責任者 奥脇 洋
E-Mail：oku@ohbakiko.co.jp

(4) 事業の概要

ステンレス等パイプ製品の加工及びプラスチック光ファイバー製品の加工・組立・試作・販売

(5) 事業の概要

年 度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
売上高（万円）	147,900	138,900	180,500	200,500	219,049
従業員数	114名	110名	120名	123名	136名
本 社 敷 地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
本 社 建 物	3,500㎡	4,500㎡	4,500㎡	4,500㎡	4,500㎡
第2工場敷地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
第2工場建物	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡



2. 対象範囲

(1) 認証、登録範囲

全組織、全活動、全従業員を対象とし、全社的に取り組む。

■本社・工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
→認証：2006年8月

■第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
→認証：2006年8月

(2) レポートの対象期間及び発行日

環境経営レポート運用期間：2023年5月1日～2024年4月30日

環境経営レポートの発行日：2024年6月13日

3. 環境経営方針

環境理念

『事業活動が、地球環境に関わる影響を認識し、
全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、より良い企業活動を行う』

基本方針

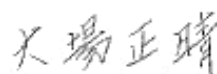
大場機工株式会社は、精密ステンレスパイプ製品、プラスチック光ファイバー製品の加工・組立技術を利用して、原材料を効率よく活用した省資源生産で新規製品を開発し社会貢献することを目指します。企業活動の中で環境保全は、経営の重要課題と捉えており、廃棄物の削減を通して環境に配慮した信頼される商品をお客様にご提供します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます。
 - 1) 電気、プロパンガス、ガソリン、灯油の使用量削減に努めます。
 - 2) 4 R 活動を通じて廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
 - 4) 化学物質使用量の適正使用に努めます。
2. 環境関連法令及びその他関連要求事項を遵守します。
3. 環境に配慮した製造活動を通じて廃棄物の削減、在庫の削減に努めます。
4. 社員の環境への啓発及び地域・社会との環境活動を通じた社会貢献に努めます。
5. 環境経営方針は全社員への周知徹底を図るとともに、ホームページ及び環境活動レポートを社外に公開することで社会とのより良いコミュニケーションを図り、継続的に改善活動実施します。

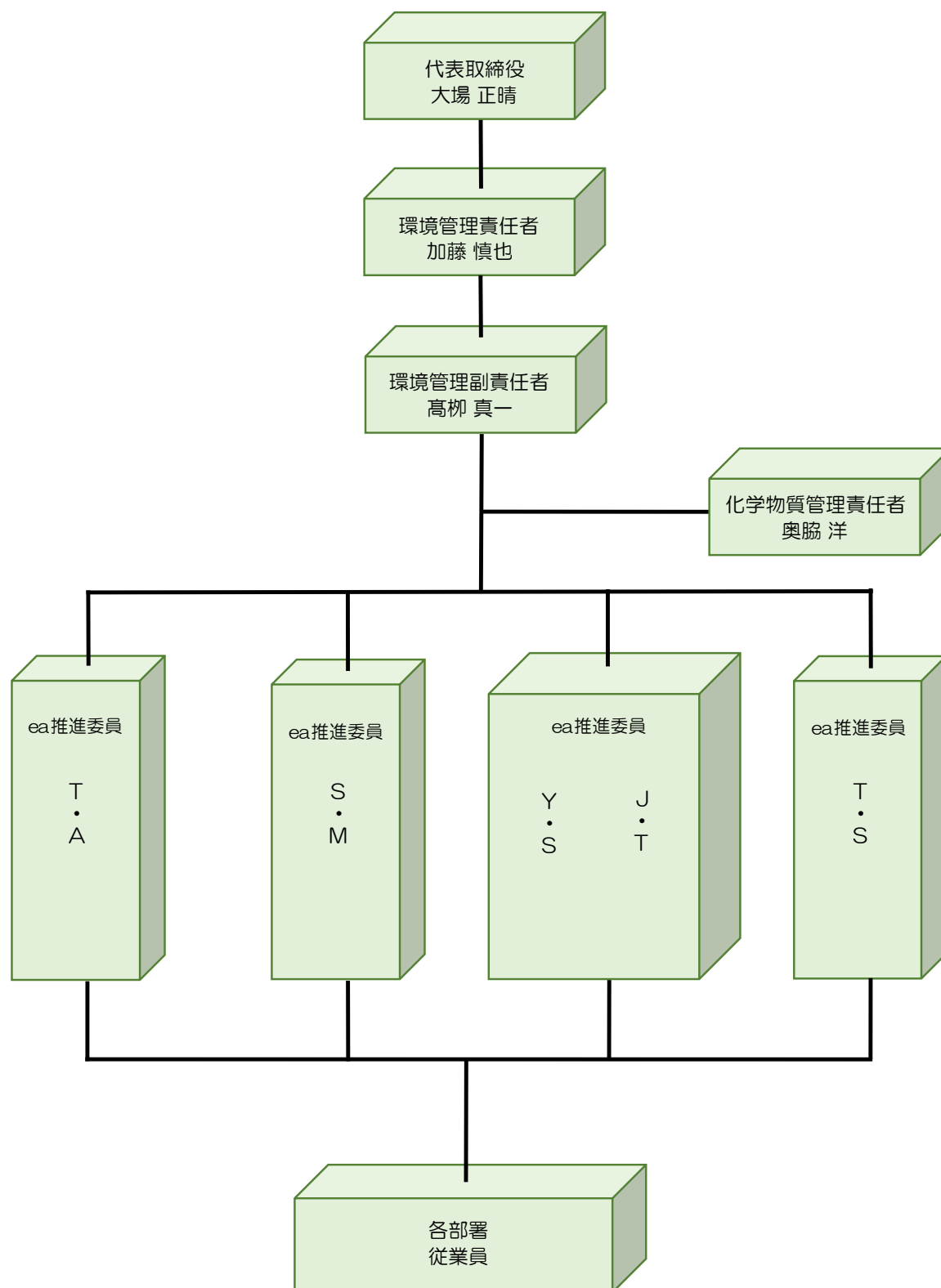
平成19年6月14日制定
令和5年8月8日改訂

大場機工株式会社

代表取締役



4. 実施体制



令和3年5月1日 制定

5. 役割、責任及び権限

職名	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	・環境経営全般に関する責任と権限 ・環境経営に必要な資源の準備 ・環境管理責任者、環境管理副責任者の任命 ・環境経営システム全体の評価と見直し ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	・環境活動経営システムの全般の運用、管理 ・環境目標及び環境活動計画の作成 ・環境関連法規取りまとめ表の確認 ・環境経営レポートの確認
環境管理副責任者	・環境関連法規取りまとめ表の作成 ・各課環境目標に対する取り組みの取りまとめ ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・文書、記録の管理
化学物質管理責任者	・環境物質管理体制の実行管理
エコアクション 推進委員	・部門の環境目標、環境活動計画の実施 ・部門の問題把握と是正対策の実施 ・部門の取組状況をQMS会議で報告 ・部門の従業員教育 ・環境活動レポートの作成
その他の従業員	・自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する。

6. 環境経営目標

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 R3年度実績	R5年度目標	R6年度目標	R7年度目標
				R3年度対比	R3年度対比	R3年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg- CO2	519,154	508,771 2%削減	503,579 3%削減	498,388 4%削減
	購入電力量	kwh	1,024,024	1,003,544 2%削減	993,303 3%削減	983,063 4%削減
	ガス使用量	kg	1,981	1,941 2%削減	1,922 3%削減	1,902 4%削減
	※ガソリン使用量	ℓ	5,381	5,273 2%削減	5,220 3%削減	5,166 4%削減
	灯油使用量	ℓ	8,533	8,362 2%削減	8,277 3%削減	8,192 4%削減
水資源 使用量	水道使用量	m³	4,687	4,593 2%削減	4,546 3%削減	4,500 4%削減
廃棄物 排出量	可燃物排出量	kg	4,710	4,616 2%削減	4,569 3%削減	4,522 4%削減
	廃プラスチック排出 量	t	2,145	2,102 2%削減	2,081 3%削減	2,059 4%削減
	コピー用紙使用量	kg	717.5	703.2 2%削減	696.0 3%削減	688.8 4%削減
製品/サービス ステンレスくずの削減		kg	19,786	19,390 2%削減	19,192 3%削減	18,995 4%削減
化学物質購入量		kg	34,000	33,320 2%削減	32,980 3%削減	32,640 4%削減

※購入電力量の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)―R1年度実績―R3.7.19環境省・経済産業省公表の東京電力エナジーパートナー(株)の基礎排出係数である0.457(kg-CO2kwh)を使用した。

※ガソリン購入量の基準年について

R3年度は、新型コロナウイルスの影響により購入量が減少しているため、H30年度実績を基準年とした。

7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

部署	達成手段	担当		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	結果	
管理部	現有材販売 【新規品種20件/月以上】	朝日 新村	計画	25件	25件	25件	25件	25件	25件	25件 半期評価	25件	25件	25件	25件	25件	未達	
			経過	19件	14件	24件	30件	29件	33件	36件	17件	20件	35件	21件	13件		
			評価	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×		
パイプ事業部	消耗品及び諸経費削減・ 代替品の検討・投入量削減	小岱 稲葉	計画	仕入れ品現状把握 不良発生原因把握		代替品導入/評価 改善/評価										評価 まとめ	達成
			経過	現状把握	現状把握	フロー シート 評価	試用準備 調査	試用 テスト	試用 テスト	試用 テスト	試用 テスト	試用 打合せ	試用 見直し	効果確認	まとめ		
			評価	○	○	○	△	△	△	△	△	△	○	○	○		
加工事業部	合理化改善提案 (50件)	(生産) (品質) 大石 大河内 長田 外間	計画	改善活動					効果確認	改善活動					まとめ	達成	
		(加工) 鈴木 野口(由)	経過	改善活動	改善活動	改善活動	改善活動	改善活動	目標見直し	改善活動	改善活動	改善活動	改善活動	改善活動	まとめ		評価
		評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○		
光事業部	廃棄量の削減 (前年度比-10%)	望月 佐野(太) 小林 佐野(世)	計画	現状把握	改善行程 抽出	改善・実行				半期 確認	改善・実行				評価 まとめ	達成	
			経過	現状把握	改善行程 抽出	改善中 評価中	改善 実行	改善中 評価中	改善中 評価中	改善中 評価中	改善 実行	改善 実行	作業確認	改善 実行	改善 実行		
			評価	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○		○

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営計画

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 R3年度実績	R5年度目標	R5年度実績	評価	R6年度目標
				R3年度対比	目標達成率		R3年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	519,154	508,771	576,382	×	503,579
				2%削減	113.29%		3%削減
	購入電力量 排出係数 0.457kg-CO ₂ /kwh	kwh	1,024,024	1,003,544	1,163,662	×	993,303
				2%削減	115.96%		3%削減
	ガス使用量	kg	1,981	1,941	1,986	×	1,922
				2%削減	102.29%		3%削減
	ガソリン購入量	ℓ	5,381	5,273	4,736	○	5,220
				2%削減	89.81%		3%削減
	灯油購入量	ℓ	8,533	8,362	11,102	×	8,277
				2%削減	132.76%		3%削減
水資源 使用量	水道使用量	m ³	4,687	4,593	5,010	×	4,546
				2%削減	109.07%		3%削減
廃棄物 排出量	可燃物排出量	kg	4,710	4,616	4,630	×	4,569
				2%削減	100.31%		3%削減
	廃プラスチック排 出量	t	2,145	2,102	3,315	×	2,081
				2%削減	157.70%		3%削減
	コピー用紙購入量 /使用量	kg	717.5	703.2	636.0	○	696.0
				2%削減	90.45%		3%削減
製品/サービス ステンレスくずの削減		kg	19,786	19,390	24,924	×	19,192
				2%削減	128.54%		3%削減
化学薬品購入量		kg	34,000	33,320	49,000	×	32,980
				2%削減	147.06%		3%削減

※購入電力量の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)―R1年度実績―
R3.7.19環境省・経済産業省公表の東京電力エナジーパートナー(株)の基礎排出係数である0.457(kg-CO₂kwh)を使用した。

※ガソリン購入量の基準年について

R3年度は、新型コロナウイルスの影響により購入量が減少しているため、H30年度実績を基準年とした。

活動項目	環境目標	R5年度各部の活動内容	評価/コメント	R6年度各部の活動内容
二酸化炭素 排出量	購入電力量	■全社 省エネ機器、節電商品への切り替え検討 ■管理部 電力使用ピークの把握 ■パイプ事業部 焼鈍設備の稼働率向上による電力削減	⇒R3年度実績:1,024,024kwh R5年度実績:1,163,662kwh R3年度対比:114.78% (+139,638kwh)	■全課 ゴミの分別 紙のリサイクル徹底 (古紙回収) こまめな節電 生活水の節水 クールビズの実施 清掃活動 【R6年度重点活動内容】 ■加工事業部 合理化改善提案（45件） ■管理事業部 現有材の販売（25件/月） ■パイプ事業部 仕入れ品目見直し ■光事業部 廃棄物量の削減 (前年比-5%) ■加工事業部 始業前のメーター確認による 使用量確認・把握 【継続活動内容】 ■管理部 燃費管理 低燃費車優先使用 ペーパーレスの推進 ■パイプ事業部 回収装置の使用量把握 井戸水の活用 ■加工事業部 メーター確認による使用量把握 梱包資材のリユース ■光事業部 廃棄量の計測 廃棄量削減の呼び掛け
	ガス使用量	■加工事業部 始業前のメーター確認による 使用量確認・把握	⇒R3年度実績:1,981kg R5年度実績:1,986kg R3年度対比:101.25% (+5kg)	
	ガソリン使用量	■管理部 燃費管理 低燃費車優先使用	⇒H30年度実績:5,381ℓ R5年度実績:4,736ℓ R3年度対比:88.90% (-645ℓ)	
	灯油使用量	■パイプ事業部 回収装置の使用量把握 回収装置の効率化	⇒R3年度実績:8,533ℓ R5年度実績:11,102ℓ R3年度対比:131.42% (+2569ℓ)	
水資源 使用量	水道使用量	■パイプ事業部 井戸水の活用 ■加工事業部 水道管経路の確認 メーター確認による使用量把握 過去3年の使用量調査	⇒R3年度実績:4,687㎡ R5年度実績:5,010㎡ R3年度対比:107.97% (+323㎡)	
廃棄物 排出量	可燃物 排出量	■管理部 ペーパーレスの推進 ■加工事業部 梱包資材のリユース	⇒R3年度実績:4,710kg R5年度実績:4,630kg R3年度対比:99.29% (-80kg)	
	廃プラスチック 排出量	■加工事業部 梱包資材のリユース ■光事業部 廃棄量の計測 廃棄量削減の呼び掛け	⇒R3年度実績:2,145t R5年度実績:3,315t R3年度対比:156.11% (+1.17t)	
	コピー用紙 使用量	—	⇒R3年度実績:717.5kg R5年度実績:636.0kg R3年度対比:89.54% (-81.5kg)	
製品/サービス ステンレスくずの削減		■管理部 契約電力見直し ■加工事業部 歩留まり向上 ■光事業部 歩留まり向上	⇒R3年度実績:19,786kg R5年度実績:24,924kg R3年度対比:127.24% (+5,138kg)	
化学物質購入量		■パイプ事業部 回収装置導入後の回収量把握	⇒R3年度実績:34,000kg R5年度実績:49,000kg R3年度対比:145.57% (+15,000kg)	

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令・条例等	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の順守 収集運搬業者及び処分業者との委託契約 委託契約書の保管 マニフェストの管理 マニフェストの交付状況報告 特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	表示板(60cm×60cm) 契約書及び許可書 保存期間：5年間 A、B2、D、E票の保管 1回/年 事業所ごとに設置	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例第8条	産業廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物処理の委託先の実地確認	管理責任者：高柳真一 1回/年以上	○
騒音規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第53条第1項(第54条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
振動規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第80条第1項(第81条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
水質汚濁防止法 第5条第1項(第6条第1項)、第7条	特定施設設置届出書 廃水の水質調査	洗浄施設/蒸留施設 1回/月	○
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設(水濁法)の廃止	土壌汚染調査	○
フロン排出抑制法	設置、使用、廃棄の義務 点検の実施 漏えい量の算定、報告	簡易点検：3ヶ月に1回 (空調機器、コンプレッサー チラー、スポットクーラー) 定期点検：3年に1回 (7.5kw以上～50kw未満の空調機器)	○
労働安全衛生法	定期健康診断 特定業務従事者の健康診断 局所排気装置設置届 局所排気装置定期自主検査 作業環境測定	1回/年 1回/半年 届出済 1回/年 1回/半年	○
消防法	ボイラー設備の届出 少量危険物 貯蔵の届出 防火管理責任者の選任(法第8条) 消防設備の設置届及び点検	少量危険物 貯蔵の届出 第4類 灯油 最大貯蔵数量950L 防火管理責任者：高柳真一 届出済、1回/半年	○
浄化槽法	法定検査 保守点検、清掃	1回/年 保守点検：4回/年、清掃：1回/年以上	○
PRTR法	対象物質使用量管理 SDSの管理	1回/年 —	○
公害防止組織法	公害防止統括者の選任/公害防止管理者の選任	酸又はアルカリによる表面処理施設 洗浄施設、蒸留施設	○
RoHS規制 REACH規制	顧客からの要求事項の順守	—	○
関連法規	家電リサイクル法 パソコンリサイクル法 自動車リサイクル法	家電、パソコン 社用車 エアコン、室外機	○

2. 違反訴訟等の有無

過去3年間の違反、訴訟等はありません

3. 近隣からの苦情

過去3年間の環境関連に関する近隣からの苦情はありません。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 環境活動の取組みのチェック

部署	活動内容	評価
管理部	現有材販売	×
パイプ事業部	消耗品及び諸経費削減・代替品検討・投入量削減	○
加工事業部	合理化による時間短縮	○
光事業部	廃棄量の削減	○

2. 代表者による全体評価・見直し指示

生産量増加・天候不順（高温化）の中、社員全員の努力で可燃物排出量・コピー用紙使用量は抑えることが出来ました。		
項目	評価	指示事項
1. 環境経営方針	中間審査の結果を踏まえ一部変更した。	特になし。
2. 環境経営目標	目標は再度検討する事。	来年度も努力を継続する事。
3. 環境経営計画	3年計画の3年目となる。計画の変更はなし。	売上計画に合わせ5ヵ年計画に変更すること。
4. 実施体制	目標達成の為に努力する事。	特になし。
5. その他	変更の必要性	変更の指示、またはコメント記載
1) 環境関連法規	有・ ☒ 無	特になし。
2) 環境コミュニケーション	有・ ☒ 無	活動報告は毎月行うエコアクション会議及びQMS会議で発表。
3) 問題点の是正・予防処置	有・ ☒ 無	特になし。
4) 環境上の緊急事態への対応	有・ ☒ 無	災害訓練・薬品流出訓練を毎年実施する。

評価日：令和6年4月12日
代表取締役 大場 正晴